

自己資本の構成に関する開示事項（2022年9月末）

【めぶきフィナンシャルグループ連結】

（単位：百万円、％）

項目	2022年 9月末	2022年 6月末
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	858,784	853,021
うち、資本金及び資本剰余金の額	243,200	243,196
うち、利益剰余金の額	623,707	612,122
うち、自己株式の額（△）	2,181	2,297
うち、社外流出予定額（△）	5,942	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	5,039	5,108
うち、為替換算調整勘定	—	—
うち、退職給付に係るものの額	5,039	5,108
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	62	62
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	684	718
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	684	718
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,788	1,788
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	6	—
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	866,365	860,699
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	10,094	10,509
うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	10,094	10,509
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	743	670
適格引当金不足額	9,222	9,139
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
退職給付に係る資産の額	24,016	23,269
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	485	454
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	44,562	44,043
<b>自己資本</b>		
自己資本の額（(イ) - (ロ)） (ハ)	821,803	816,655
<b>リスク・アセット等 (3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	6,888,394	6,906,681
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△1,153	△6,760
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	△5,606
うち、上記以外に該当するものの額	△1,153	△1,153
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	367,531	359,653
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	7,255,925	7,266,334
<b>連結自己資本比率</b>		
連結自己資本比率（(ハ) / (ニ)）	11.32	11.23

## 【常陽銀行連結】

(単位：百万円、%)

項目	2022年 9月末	2022年 6月末
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	544,603	541,981
うち、資本金及び資本剰余金の額	144,818	144,818
うち、利益剰余金の額	404,084	397,162
うち、自己株式の額 (△)	—	—
うち、社外流出予定額 (△)	4,300	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	5,944	6,040
うち、為替換算調整勘定	—	—
うち、退職給付に係るものの額	5,944	6,040
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—	—
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	0	0
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	0	0
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,788	1,788
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	552,336	549,809
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）の額の合計額	4,945	5,019
うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	4,945	5,019
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	—	8
適格引当金不足額	8,482	8,008
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
退職給付に係る資産の額	6,109	5,682
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	484	453
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	20,022	19,172
<b>自己資本</b>		
自己資本の額 (イ) - (ロ) (ハ)	532,313	530,636
<b>リスク・アセット等 (3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	4,032,848	3,998,268
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△1,153	△6,760
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	△5,606
うち、上記以外に該当するものの額	△1,153	△1,153
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	215,150	209,598
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	4,247,998	4,207,867
<b>連結自己資本比率</b>		
連結自己資本比率 (ハ) / (ニ)	12.53	12.61

## 【常陽銀行単体】

(単位：百万円、%)

項目	2022年 9月末	2022年 6月末
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	522,963	520,820
うち、資本金及び資本剰余金の額	143,687	143,687
うち、利益剰余金の額	383,576	377,133
うち、自己株式の額 (△)	—	—
うち、社外流出予定額 (△)	4,300	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	—	—
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	—	—
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,586	1,586
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	524,550	522,407
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>		
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	4,852	4,928
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	4,852	4,928
繰延税金資産 (一時差異に係るものを除く。)の額	—	—
適格引当金不足額	12,302	12,005
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
前払年金費用の額	3,864	3,596
自己保有普通株式等 (純資産の部に計上されるものを除く。)の額	484	453
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	21,502	20,984
<b>自己資本</b>		
自己資本の額 ( (イ) - (ロ) ) (ハ)	503,047	501,423
<b>リスク・アセット等 (3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	4,030,283	3,994,190
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△1,589	△7,196
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	△5,606
うち、上記以外に該当するものの額	△1,589	△1,589
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	211,105	205,192
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	4,241,388	4,199,383
<b>自己資本比率</b>		
自己資本比率 ( (ハ) / (ニ) )	11.86	11.94

## 【足利銀行連結】

(単位：百万円、%)

項目	2022年 9月末	2022年 6月末
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	338,285	336,081
うち、資本金及び資本剰余金の額	135,000	135,000
うち、利益剰余金の額	206,285	201,081
うち、自己株式の額 (△)	—	—
うち、社外流出予定額 (△)	3,000	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	△1,946	△2,006
うち、為替換算調整勘定	—	—
うち、退職給付に係るものの額	△1,946	△2,006
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—	—
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	0	0
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	0	0
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	6	—
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	336,346	334,074
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）の額の合計額	4,912	5,269
うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	4,912	5,269
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	3	0
適格引当金不足額	5,604	5,870
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
退職給付に係る資産の額	18,067	17,641
自己保有普通株式等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	28,588	28,781
<b>自己資本</b>		
自己資本の額 (イ) - (ロ) (ハ)	307,758	305,292
<b>リスク・アセット等 (3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	2,790,995	2,848,482
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	—	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	149,521	148,971
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	2,940,517	2,997,453
<b>連結自己資本比率</b>		
連結自己資本比率 (ハ) / (ニ)	10.46	10.18

## 【足利銀行単体】

(単位：百万円、%)

項目	2022年 9月末	2022年 6月末
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>		
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	337,761	335,592
うち、資本金及び資本剰余金の額	135,000	135,000
うち、利益剰余金の額	205,761	200,592
うち、自己株式の額 (△)	—	—
うち、社外流出予定額 (△)	3,000	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	—	—
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	—	—
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	337,761	335,592
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>		
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	4,909	5,267
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	4,909	5,267
繰延税金資産 (一時差異に係るものを除く。)の額	—	—
適格引当金不足額	5,646	5,921
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
前払年金費用の額	20,012	19,646
自己保有普通株式等 (純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	30,568	30,836
<b>自己資本</b>		
自己資本の額 ( (イ) - (ロ) ) (ハ)	307,192	304,756
<b>リスク・アセット等 (3)</b>		
信用リスク・アセットの額の合計額	2,792,419	2,850,355
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	—	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	146,362	144,696
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	2,938,781	2,995,051
<b>自己資本比率</b>		
自己資本比率 ( (ハ) / (ニ) )	10.45	10.17